



# 第8回 市川・荷風忌

日本を代表する文豪・永井荷風（ながいかふう）（1879 - 1959）は、近代化で失われゆく東京の江戸文化に目を向け、玉の井（現墨田区）を舞台にした小説『溍東綺譚』（木村荘八挿絵）などを書き上げました。1946年（昭和21）1月から市川市菅野に暮らし、日記文学の最高峰と称される「断腸亭日乗」をしたため、1959年（昭和34）4月30日未明、市川市八幡で、79歳の生涯を閉じました。

市民の呼びかけで始まった「市川・荷風忌」——。今回は、永井荷風を通して明治の東京の成り立ちとその結果を読み解いた「荷風と明治の都市景観」の著者 南 明日香氏に新しい視点での荷風についてご講演をいただきます。あわせて、俳優女優 長浜奈津子氏による『溍東綺譚』のひとり語りをお楽しみください。

## 2016年(平成28) 5月 3日(火・祝)

14時00分～16時15分（開場 13時30分） 先着220名

会場 市川市生涯学習センター2階 グリーンスタジオ [無料・申込不要]

### 講演「荷風と明治の都市景観」

南 明日香氏

相模女子大学教授

### ひとり語り「玉の井 大江匡とお雪」

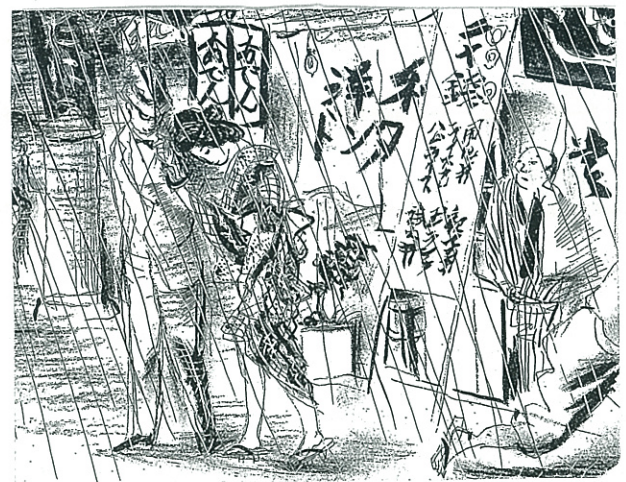
長浜奈津子氏

劇団俳優座 女優

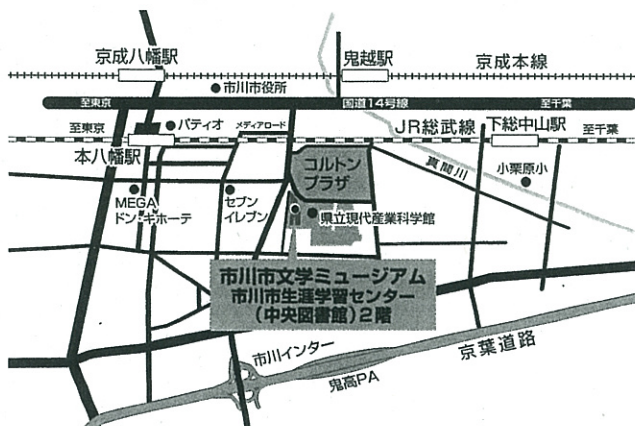
#### ■南 明日香氏 プロフィール

1961年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、同大学院文学研究科博士課程単位取得。2007年より相模女子大学学芸学部日本語日本文学科教授。フランス国立東洋言語文化研究院博士号取得（Ph.D）。専門は日仏比較文学・比較文化。

著書に『永井荷風のニューヨーク・パリ・東京 造景の言葉』（2007年、翰林書房）、『荷風と明治の都市景観』（2009年、三省堂）、『国境を越えた日本美術史 ジャポニズムからジャポロジーへの交流誌 1880-1920』（2015年、藤原書店、第36回ジャポニズム学会賞受賞）などがある。



木村荘八『溍東綺譚』挿絵



主催 市川市文学ミュージアム

問い合わせ 〒272-0015 市川市鬼高1-1-4

市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）

2階 市川市文学ミュージアム

TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3356

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/litera/> (月曜休館)